

校長通信

Morifun

<2022年もコロナと共に>

新しい年を迎えました。遅くなりましたが、今年もよろしくお祈りします。さて、予想されていたことではありませんが、ここに来て新型コロナもデルタ株からオミクロン株に置き換わり大変な状況になってきました。

以前は飲食店などからの感染が見られましたが、家庭など身近な場所での感染確認が相次ぎ、盛岡広域や中部保健所管内を中心に、学校や保育施設に関連するクラスターも多数発生しています。改めて不織布マスクをきちんとして、換気にも心掛けて生活していきましょう。

というわけで、前号で紹介した大宮大虎くんが出場予定だった(後から佐々木稼全くんも選ばれました)全国都道府県対抗男子駅伝競走大会も残念ながら中止になりました。今後も色々な制約が出てくるかもしれませんが、一喜一憂せず、今できることに最善を尽くしていきましょう。これから学年末試験、国公立の二次試験、そして卒業式を控えています。特に3年生にとっては実質ひと月足らずの高校生活となります。免疫力を上げて、健康な生活を送り、ぜひ有終の美を飾ってください!



<クリスマス礼拝>

12月24日の終業式の日にはクリスマス礼拝が厳かに行われました。盛岡松園教会牧師の平澤昇先生をお招きし、聖書朗読そして説教をいただきました。「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。」(ルカによる福音書2章11節) 説教では「飼葉桶の中に」という題目で、羊飼いと差別されていた者のところ、一番弱いところに神が生まれたという最初の知らせが届けられた。人はどうしても自分たちは駄目なんだという思いを抱いてしまうが、そこには必ず神が寄り添ってくれる。あなたはあなたのままでいいのだ、他人と比較するのではなく、今をしっかりと頑張る生きよう——というお話でした。マスク越しではありましたが久々に賛美歌を唄い、キャンドルサービスでイエス・キリストの誕生をお祝いしました。

<1/14 始業礼拝より>

新約聖書 コリントの信徒への手紙二 12章9-10節

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ、十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。…なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

「弱さ」という言葉を聞いて、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。私たちの社会において、弱さは、どちらかと言うとネガティブなニュアンスで語られることも多いことと思います。しかし聖書は、「弱さ」とは必ずしも否定すべきものではないことを伝えていきます。

この言葉を記したのはパウロという人です。聖書を読んでいると、パウロはまるでスーパーマンのような人、とても強い人のように思えますが、パウロもまた何らかの弱さを抱えていたようです。それが何であったかははっきりとは分かりません。心の弱さであったのか、体の

弱さであったのか。いくつかの説があります。うつ病であったのではないか。目の病気があったのではないか。てんかんの発作があったのではないか、との説もあります。いずれにせよ、パウロもかつては自分の弱さに悩んでいたことが伺われます。

パウロは手紙のあるところで、自分のその弱さを《とげ》と表現しています。《とげ》とはチクチクとして痛むもの、気になって仕方がないものですよね。パウロはこの気になって仕方がない《とげ》が取り除かれるようにと、何度も神さまに願ったそうです。何度も願い続ける中で、ある日、パウロはキリストが自分に語りかけてくださったように感じる不思議な体験をしました。《わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ、十分に発揮されるのだ》、そうキリストが自分に語りかけてくださったように感じたのです。

結局、パウロ自身は生涯、その身から《とげ》が取り除かれることはありませんでした。すなわち、自分の弱さに打ち勝つとか、克服するとか、そういうことは起こらなかった。でも、パウロの内には、大切な変化が起こり始めていました。それは、弱さをそのままに受け入れることができるようになったという変化です。弱さとは、必ずしも否定されるべきものではない。打ち勝たねばならないものでもない。弱さは、そのままに受け入れるものなのだと、少しずつ気づいていったのです。

自分に弱さがあるとき、私たちは誰かの助けやサポートを得なければなりません。しかしそのとき、新たな出会いや、大切なつながりもまた与えられてゆくことがあります。弱さがあるので、私たちは互いに支え合ってゆくことができます。人と人が支え合うとき、そこに、まことの「強さ」が現れるのかもしれませんが。私たちが互いに支え合うときに生まれる力、湧き出てくる力、それが《キリストの力》であると僕は受け止めています。パウロはこう宣言しています。だから、《わたしは弱いときにこそ強い》、と。

(花巻教会牧師・鈴木道也先生)

<1/14 始業式講話より>

朝日新聞社主催の、「私の折々のことばコンテスト 2021」の結果が発表されました。昨年、一昨年と最優秀作品を紹介してきましたが、今回は皆さんに伝えたい二つを選びました。まずは、鷺田清一賞（中学部門）から

「いじわるされるたびにしんせつにしてやったらどうだろう。」 江田なずなさん・中学2年

良く言えば思いやりがある。悪く言えば気が弱い。それが私の性格です。嫌なことがあっても、相手に仕返すなんて勇敢なことは出来ません。だから私だけが傷つく一方です。色んな人に、「少しだけで良いから言い返さない。何を言っても許されると思われて今後も傷つけられるよ。」と言われました。その通りだと思っていますが、私には出来ません。そこで、今まで言われてきた言葉とは百八十度逆さまなこの言葉に出会いました。どの意見よりも心に響いたし、納得できました。余裕のある達観した大人みたいでかついいし、何より私の情けない性格が一番合っている方法なのです。これこそ嫌なことがあった時に思い出す、私の折々の言葉です。

これは『ドラえもん⑩』に書かれているので藤子・F・不二雄さんの言葉になります。この言葉を聞いて、どう思いますか。受賞者は中学2年生です。すごいよね、この境地になれるというのは。大人だって、なかなかこうはいきません。本人は情けない性格と言っていますが、全然そんなことありません。自分の気持ちを常にコントロールできるのは素晴らしいことです。人からもし嫌な言葉を掛けられたり、そういった行動をされたりした時に、この言葉を思い出してください。

もう一つはZ会賞（高校部門）の作品

「選んだ道を正解にする」 川原美桜さん・高校2年
私は高校二年生で、進路についてずっと悩んでいました。興味があることがたくさんあり、何を一番やりたいのかもわからず、大学で学んでいるイメージが持てませんでした。どの大学、学部を選ぶのが一番良いのか。〴

正解、を見つけることしか考えていませんでした。そんなときに担任の先生が、「選んだ道を正解にする」という言葉をかけてくださいました。この言葉は、その時の私に一番必要な言葉だったと思います。この言葉で私の考えは大きく変わりました。どの道を選んでも、その道で精一杯頑張る、自分にとっての「正解、にしていこう！」と思うようになりました。この言葉はこれからも、選択や決断を迫られたときに、私を導いてくれるでしょう。

受賞者は高校2年生そして担任の先生のことばです。3年生はかなりの人が進路を決定しています。もちろん、明日から行われる共通テストに全身全霊を掛けて挑む仲間もいます。いずれにせよ、人生は選択の連続です。高校を選ぶのも、文系理系のコース選択も、大学や専門学校も、そして仕事も、恋人を選ぶのも、結婚するのも大きな選択になります。あの時ああすればよかったとか、あっちの道を選ぶべきだったという後悔は必ずあるものです。でもまずは選んだ今の場所で、最善を尽くしてみる、選択を正解にする努力をすることはとても大切なことです。それでもだめで次の道を選ぶことになったとしても、努力したことは絶対無駄にならないと信じたい。

さて、今年寅年です。寅年は、芽の出たものが成長していく年、物事の象徴が生まれる年ともいわれるそうです。難しいことかもしれませんが、感染症が大きく広がらないことを願いつつ、干支にふさわしく、皆さんがそれぞれ大きく成長できる年になることを心から祈っています。まずは今できることをしっかりやって、健康を維持し、自分自身を大切にしましょう。そしてそれぞれが今年度の締めくくりとしての約3ヶ月間を悔いのないように生活しましょう。

<日本学生野球協会優秀選手>

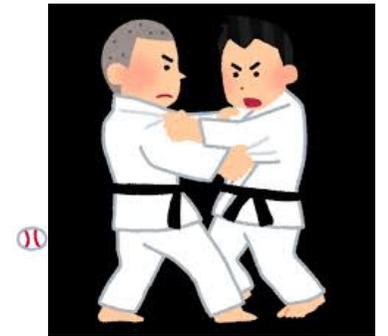
野球部前主将の田家瑛人くんが日本学生野球協会の2021年度優秀選手に選ばれ、1月24日に本校会議室で表彰伝達式が行われました。県高野連会長から表彰盾が手渡されました。この賞は岩手県の高校球児から年に1

名しか戴けないという貴重な賞で、昨夏の岩手大会を制し、甲子園ベスト16という成績を残したキャプテンシーが評価されました。

東北高校柔道選手権大会（1/21～23 石巻市）

【団体】 第3位 2回戦 3人残し大曲農業
準々決勝 1人残し 青森山田 準決勝 1人残し 仙台育英 敗退

【個人】 81kg級 第2位 佐々木康太 第3位 山田煌晟
66kg級 ベスト8 勝田隆暖



<希望を持つ>

昨年の大晦日にBSで「ショーシャンクの空に」という映画を観ました。普段テレビではほとんど映画を観ませんが、この映画は大のお気に入りであり、ちょうど時間もあつたので久々の鑑賞となりました。何度見ても感動します。冤罪によって刑務所に入ることになってしまった主人公を描いたヒューマンドラマです。主人公アンディが親友レッドに語ることば。

「覚えてるね。希望はいいものだよ、たぶん最高のものだ。いいものは決して滅びない。」

Remember, Red, hope is a good thing, maybe the best of things. And no good things ever dies. (原文のまま…文法的にはdieとなるはずですが…)

迎えた元旦、新しい手帳に「希望を持つ」と書きました。今年も希望を抱いて一年を送ろうと思います。